TOKACHI TOYAMA FARM
食卓に笑顔の種を届けたい
ANNIVERSARY 1917-2017

土の香り

No.36　2021年

ホームページ
www.toyama-nojo.net
お電話、FAXでのご注文・お問合せ
電話＆ファックス　0155-60-2110

４世代６人家族になりました

「第二子　楓夏(ふうか)が生まれました。」

皆様お元気ですか？
8月15日　隆祥-暁子の第二子　楓夏が誕生しました。予定日の9日から待つこと待つこと、周りがソワソワし始める中、３時間半のスピード出産で無事に生まれてきてくれました。生まれて間もないころはお姉ちゃんの桂菜にそっくりと思いましたが、時間が経つにつれて観る程に色々な違いを発見しています。すくすくと元気に育ちますように。
名前の由来　2020年12月から西洋占星術では220年周期の「土の時代」から「風の時代」へと変わったそうです。皆さんもコロナ禍を発端として多くの変化を感じていると思います。変化の大きな時代を風のように自由に颯爽と生きていって欲しいと願い、風のつく木へんの漢字「楓-かえで」と生まれてくる季節「夏」を組み合わせました。
※風の時代で調べると本やネットでは色々と出てきます。

「特集　コロナ禍を逆手に」

感染症の流行や変異株の登場ですっかりと会議や行事、さらにはプライベートの旅行の機会などが減ってしまいました。せっかくなので、できた時間を活用して数十年単位でできなかった（あるいは見て見ぬふりをしていた）作業を進めています。時にはユニックやユンボを借りて自前で土木工事を行います。
①生産性を上げるために400m²ほどの草刈りをしていた土手を均して農地にする作業。
②手刈り除草（肉体労働）を行なっていた農地周り1000m²を均平にしてトラクターで草刈りができるように改良。③農地の徐れき（石拾い）。
④河川周辺の大木（樹齢40～50年）を伐採し、防風林を植え直し再整備。
⑤めい渠の清掃を行い速やかな排水を促し農地が乾きやすように対策を施す。
これらを農作業の合間や冬季間を活用して行なっています。
これにより手作業を減らして機械などで効率よく管理できるようにします。農場周辺には農産物の生産には直接の利益を産まないけれどもやった方がいい仕事がたくさんあり、それらを一つずつ減らすように心がけています。また2016年に十勝を襲った台風（総雨量500mm）以上を想定して備える必要があります。今年の九州を襲った線状降水滞は総雨量が1200mmほどだったそうです。起きている災害は対岸の火事ではなくいつ自分に降りかかってもおかしくないもので、起きてからでは遅すぎるのです。とても時間がかかることなので毎年コツコツと進めています。

①土手を解体して畑に

②均して管理を容易に

④樹齢45年の大木を伐採

④植樹　成長が楽しみです

⑤河川の雑木の伐採・掃除

お陰様で家族一同 元気にしています

徳男（92）週２回のデイサービスに犬のエサやり、歩行器に腰かけて辺りを観ているのが日課です。
聖子（62）日本農業新聞北海道版「レジリエンス」で自費出版した夫の追悼集（１７年前に発行）が紹介されました。
暁子（40）久しぶりの新生児は可愛すぎる&長女の成長ぶりに驚き。娘たちと遊ぶために体力づくりしなきゃ！
隆祥（35）河川の樹齢45年の木を倒しながら、10年後にこんな風格が出るものかと感嘆としています。
桂菜 ケイナ（3） 妹楓夏の誕生により、あやしたり本を読んであげたりとすっかりお姉ちゃんしています。
楓夏 フウカ（0）よく寝て、元気にママのおっぱいを飲んで日々成長しています。

応援よろしくお願いします

「応援・参加できる農場づくり」

コロナ禍の影響は農業界にもあり、とやま農場の場合は…
①市内の販売先の売り上げが減少したことで納品回数が減ってしまった。
②関西圏の観光客が減少することで倉庫の小豆の出荷状況が鈍くなる。
③宿泊に訪れるゲストの組数が激減する（2019年実績の1/5まで減少する）などの影響を受けています。農産物に対する補償はありますが、これら独自の取り組みには補償がありません。経営としてできることは取り組みましたが、今後のことを考えた時に産直のお客様や来客者様が気軽に農場作りに参加できる方法はないかと思い、“#MakeltGreen”Tシャツを作りました。デザインは義妹の外山美利河
“#MakeltGreen”とは「食材を買う時、美味しいものを食べる時、農業従事者のこともたまには思い出してね。」の想いを込めたコンセプトです。
カラー緑　サイズS・M・L・XL　価格2000円（レターパック送料５００円）
経費を除いた売り上げは宿泊施設などの備品購入に充てたり、営農以外の活動に使わせて頂く予定です。申込みはメール、農場HPの問い合わせ、FBページのメッセージ産直申込書の備考欄にTシャツ応援購入希望と添えてお申し込み下さい。

所有から共有へ

2020年から農家民宿に加えてカーシェアを始めてみました。最近はスマホのアプリに登録するだけで始められることがたくさんあります。コロナ禍で昨年は全く利用がなかったものの、今年は仕事や観光目的での長期利用をいただけるようになりました。「家や車はお金を生まない。」という慣用句がありますが、常識は技術革新で簡単に覆るのだと思っています。 来年には我が家にもようやく光ケーブルが来るので、都市との情報格差が解消されてきます。今後住む場所や働く場所の自由度が高まってくると、都市などに住む方が十勝や帯広を知って好きになってもらえるよう、お手伝いができればと思います。

十勝晴れで「ととのったぁ～」

テントサウナがきました。

2020年末に断熱構造のテント内で専用のストーブを熱して入浴する「テントサウナ」が来ました。もともと温泉やサウナが好きという事もあり、福利厚生と訪れるゲスト向けの新しいサービスとして導入しました。導入以来、コロナ禍で多くはありませんが数組の利用があり、どの方も貸切の設備で思う存分にサウナを満喫していかれ「今までで最高のサウナ体験ができました。」と言ってもらえる人までいます。 2019年に頂いたHAL農業賞には副賞があり、農場を訪れる人たちが滞在を楽しめるよう、ファームインBieiの玄関タイル・中村ジュンコさんのタイルアート作品2点・そしてテントサウナの購入費に充てました。機会がありましたら是非、眼の前に広がる雪原や畑、満天の星を見ながらのサウナはいかがですか。

Facebookも更新中！

現在１０４５いいね！(8月31日)

編集・発行
合同会社 十勝とやま農場 外山隆祥
農業生産・産地直送
農家民宿 Route55・Biei
〒080-2106
帯広市美栄町西6線128番地
Tell&Fax 0155-60-2110
メール info@toyama-nojo.net

編集後記

８月下旬、昨年は中止になった農業高校生の職場体験実習。今年は実施依頼があり、３名の生徒さんを３日間受け入れました。全員がいずれは実家の農業を後継する予定で意欲的でした。当農場の概要や土づくり、各種取り組みなどの説明に加え農作業や施設見学など、自家農場との比較を通して何か１つでもお役にたてていると嬉しく思います。初日の宿題『農場のキャッチコピーを考えよう』では、将来を見据え真剣に考えた証としてのコピーを最終日にそれぞれから聞くことができ、若き担い手達のたのもしさと今後がとても楽しみに思えました。農業後継者の減少による規模拡大が進む中、加えて温暖化による自然災害が頻繁に起こる昨今、どうか彼らの未来が明るく仲間と共に切磋琢磨しつつ、良き農場良き人生でありますことを願わずにはいられません。　　聖子